
QA27 私は妊婦です。放射線の影響はありませんか。

妊婦の方におかれましても、他のみなさま方と同じ対応で問題ありません。胎児が放射線を受けた場合のがんリスクは、成人が受けた場合より2～3倍程度高いと考えるべきであるといわれています(ICRP Publication 103)。しかしながら、妊娠期間中に100ミリシーベルト以下では胎児への影響(奇形、精神遅滞等)は原爆被爆者の調査では見られていません。

また、胎児へのそのほかの影響(小児期や成人期での発がん)について、現在の状況で住民の方が受ける可能性のある少量の放射線から予測される危険性は、生活習慣等放射線以外のものを原因として生じる危険性と比べて、遥かに小さいと考えられます。

また、今回の事故の影響で受ける累積の放射線量は、世界各地で受ける自然放射線の累積量の違いの範囲内におさまる程度であると考えられます。ですから、妊婦だからといって過度に心配する必要はありません。そのほか、妊婦さんの注意点は、厚生労働省のホームページをご参考ください。

出典：放射線医学総合研究所ウェブサイト「放射線被ばくに関するQ&A」より作成

出典の公開日：平成24年4月13日

本資料への収録日：平成24年12月25日

改訂日：平成27年3月31日